

研修名	専門課程 道路計画〔分析・評価〕 【集合】 (昭和40～平成22年度：「道路計画」、平成23～24年度：「道路計画・交通分析」)					
目的・重点事項	幹線道路を中心とした道路計画の交通分析、事業評価に関連する専門知識を修得させることを目的とする。 以下の点を重点項目とする。 ① 道路交通分析、費用便益分析に関する専門知識の修得 ② ボトルネック解消のための局所改良、高速道路の有効活用などによる道路ネットワーク機能の強化に関する企画立案能力の向上					
対象者	国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、特別区、市、独立行政法人等の技術系職員で、道路に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者 ① 係長、専門官、専門員又はこれと同等の職にあると認められる者 ② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者 ※上記対象者に該当する者であって、育児・介護等の特別な事由により集合研修への参加が困難な者についてはオンライン参加を可能とする					
定員(人)	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	18	1	18	3		40
研修期間	50.0時間 10日間			令和5年 9月26日(火)～ 令和5年10月 5日(木)		
カリキュラム内容 (予定時間)	1. 講義(22.0) ① 道路交通の現況と課題、これからの交通分析と道路計画 等(4.0) ② 道路整備の計画体系、道路経済調査、データを活用した道路交通分析、道路事業における事業評価、交通流とボトルネック対策、道路における構造基準、地域の実情にあった道づくり、高速道路の最近の動向、道路の老朽化対策、管理技術を踏まえた道路計画のあり方、道路事業の広報 等(18.0) 2. 課題研究(17.0) (昨年度テーマ：今後の広域道路ネットワークのあり方) 3. 演習(9.0) 交通需要推計、費用便益分析、平面交差点の計画と設計 4. その他(2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス 計 50.0					
前年度からの 主な変更点	・実施手法変更(ハイブリッド→集合)					
担当	建設部 建設技術研修分析官 (TEL: 042-321-0645)					
備考	テキスト代(予定)24,000円					